

キャラクター名  
榊 氷見音(サキ ヒメ)

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー		ワークス	研究者	カヴァー	研究者
	サラマンダー			年齢	21	性別
オプション	覚醒	償い	衝動	殺戮	初期侵食率	36%
出自	待ち望まれた子		経験	禁断の愛	邂逅	自身

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	4	0	0			4	行動値	5
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	5
精神	2	1	0			3	戦闘移動	10
社会	2	0	0			2	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	6		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:レネゲイド	4		情報:学問	1	
運転:			芸術:			知識:未知の知覚	4		情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
二色の絵の具		7r+6		18		装甲値無視 C値8
①+②+⑤+⑥		0				コスト10 移動時使用不可
二色の色彩		5r+6		33		装甲値無視 C値8 シナリオ3回
①+②+③+⑤+⑥		0				コスト14 移動時使用不可

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
携帯電話	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
Dロイス:変異種	P	N		
子供	P 幸福感	N 疎外感		
神在美月	P 庇護	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P: 6

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:サラマンダー	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果:	C値-Lv							
焦熱の弾丸	1	1	メジャー	視界	-	RC	-	
効果:	攻撃力+[Lv+2]の射撃攻撃							
コキュートス	5	4	メジャー	視界	シーン(選択)	RC	3/Sn	
効果:	攻撃力+[Lv×3]の射撃攻撃 ダイス-3個							
クロスバースト	5	4	メジャー	-	-	シンドローム	80↑	
効果:	攻撃力+[Lv×4] ダイス-2個							
灼熱の砦	5	3	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果:	攻撃力+[Lv×3] 移動時使用不可							
結合粉砕	5	4	メジャー	-	-	シンドローム	ピュア	
効果:	ダイス+Lv個 装甲値無視							
快適室温	★	-	メジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果:	室温を快適な温度に保つ							
凍結保存	★	-	メジャー	至近	単体	自動	-	
効果:	人体を凍結させる							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「命はとても儚く、そして脆いわ。紅蓮の炎の中にも、凍てつく氷の中にも生きられない」「穢れも闇も、血の色も知らない瞳……ふふふ」

とある財団傘下の研究施設でレネゲイドに関する研究を続ける女性。感情の起伏はほとんど無く、日々に達観したかのように黙々と研究を続けている。唯一表情を変えるのは子供を目にした時。少しだけ微笑ましく、穏やかな気分になれるらしい。サラマンダー特有の炎を操る能力と氷を操る能力を両者ともに高いレベルで併せ持ち、灼熱の火焰と凍える吹雪を自在に操る姿は“魔女”と揶揄されている。

幼年期からの英才教育により17歳時には大学院に入るも、それ以来は研究室に籠もりっぱなしの生活に。ひよんなことからレネゲイドの存在を知ってからは非オーヴァードでありながらもUGNの傘下に入り研究室もそこに移した。研究を続ける最中ふと人工生命も作れるのではないかと、思い立ち実践に乗り出す。結果確かに成功はしたのだが生み出した人工生命はわずか3時間で死亡。彼女なりに激しい罪悪感に襲われUGNを去ることさえ考えたのだが、精神的ストレスによりオーヴァードへと覚醒してしまったのでそれも出来なくなった。その後も人工生命を作り出す実験は続けており、成功例も多数出している。

今はUGNを離れつつも未だ研究室に籠もってばかりの生活は続けているが、週1くらいに近くの公園に散歩に行くのがちょっとした趣味。やることと言えば暖かい目で無邪気に遊ぶ子供を見つめるくらいだが、近頃不審者扱いされ出しており肩が狭いらしい。

——コボ、コボ。培養液の中で素体が反応を続ける。ただの物体でしかなかったそれに、徐々に意志と生命が吹き込まれていく。もうじきEXレネゲイドとして、この世に歪な生を遂げるのだろう。